

平成25年度 地域の取り組み状況報告

【基本目標 1】 お互いを大切にしようひとりづくり

●	地区社協・地域福祉ネットワーク委員会で実施したもの
□	自治会または他団体で実施したもの

活動目標	具体的な取り組み	関連事業	地域																	地域の課題・今後の方向性等					
			飯塚	片島	立岩	鯉田	菰田	飯塚東	二瀬	幸袋	鎮西	楽市西	楽市東	平恒	若菜	棕本	高田	大分	上穂波		内野	庄内	頼田		
(1) 人権の尊重と地域福祉の意識醸成	①人権の尊重を基盤とした福祉意識の向上	1 人権同和問題研修	□	●		●	●									□		□	□	□	□	□	●	・講師派遣を市に依頼し、行政の運営協力を得る等、良好な関係を築きながら実施している。 ・構成員の殆どが地域の役職を兼任しているため啓発活動がしづらい。	
		2 福祉・健康に関する講演会(福祉のつどい)										●	●	●	●	●	●						●	・多くの方に聞いてもらうため、幅広い年齢層を対象としたテーマ設定に心がけている。 ・講師の選定に苦慮している。 ・講師謝礼等の費用がかからないように、講師を市職員等に依頼する等の工夫をしている。	
		3 福祉委員研修[地区社協、ネットワーク委員等] ※視察研修も実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・講師の選定に苦慮している。 ・施設訪問については、受け入れ先、移動手段の確保に課題がある。 ・平日開催のため、仕事があり出席できない若い世代の方への参加の呼びかけが課題である。土日開催の検討が必要。 ・福祉委員の高齢化による参加者の減少が懸念される。
		4 小学生の福祉体験・福祉講座					●													●		●			・福祉施設や学校を利用して福祉体験教室を実施。 ・小学校において、障がいについての講演を実施。隔年で他地区学校でも実施予定。
		5 男性料理教室	●				●	●		●															・参加者のほとんどが固定しているため、新規参加者の募集が課題である。
(2) 地域福祉の担い	②地域活動への参加を高める意識づくり	6 自治会への加入促進	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	・未加入者はアパート等の若い人が多い。理由は、地域での交流や役職につくことが面倒、加入のメリットがない等。 ・家主さんに家を貸す際に自治会加入を勧めてもらうように要望する。 ・高齢化により会費徴収が困難。 ・高齢者の一人暮らしの未加入者が多い。 ・個人情報保護の観点から加入促進活動が制約される。	
		7 花壇の作成							□															・自治会で、花壇を作っている。自治会未加入者等の加入の足がかりになるよう活動している。	
(3) 多様な活動の促進	①活動しやすいフィールドづくり	8 ふれあいマーじゃん教室																●	●	●				・脳トレ・介護予防・団塊世代の地域活動参加のきっかけとして、講師を呼んで、教え方講座を行った。今後は、受講者が各地域へもちかえり、広めていってもらう。	
		9 福祉事業への見学の周知		●																				・小学校の学年通信や地区社協だよりを通じていきいきサロン等福祉事業の見学の周知を行い、見学者があった。	
活な(3)多様な活動の促進	①活動しやすいフィールドづくり	10 各種団体の広報支援		●																				・福祉関連事業・活動について、広報の内容を充実させ、積極的に地区社協だよりを発行する。活動の予定を公民館報に掲載して、地域住民への周知を継続・徹底する。	

【基本目標 2】 支え合う地域づくり

●	地区社協・地域福祉ネットワーク委員会で実施したもの
□	自治会または他団体で実施したもの

活動目標	具体的な取り組み	関連事業	地域																	地域の課題・今後の方向性等					
			飯塚	片島	立岩	鯉田	菰田	飯塚東	二瀬	幸袋	鎮西	楽市西	楽市東	平恒	若菜	棕本	高田	大分	上穂波		内野	庄内	頼田		
(1) 地域における交流活動の促進	①地域での交流の機会づくり	1 いきいきサロン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・参加者が老人クラブ会員に固定されつつあり、老人クラブ未加入者にも参加の呼びかけを行っている。 ・小さな集落は、人数が少なく設立が困難である。 ・高齢化により世話をする協力者が少ない。 ・参加者の交通手段や対象者への呼びかけ方法に課題がある。 ・体を崩したり、認知症での脱退者も多い。 ・男性の参加者が少なく、新規加入者も少ない。	
		2 介護予防型サロン																●	●	●				・いきいきサロンと同時開催。	
		3 グランドゴルフ ※小学生も参加	●			●	□	●		●		●	●	●	●	●	●							●	・雨天時の対応、他行事との調整や開催場所の確保が課題である。
		4 ふれあい会食会(交流会)	●			●	●	●	●	●									●	●	●	●		●	・移動手段が課題である。 ・年々対象者が増加しており、会場の確保、必要経費の捻出及び協力者の確保等の課題がある。 ・子どもとの交流も検討していきたい。
		5 趣味活動(映画会・カラオケ大会)											●												・参加者増加のため、呼びかけ等が必要。
		6 バスハイク ※対象 ①高齢者 ②障がい者		●	●	●						●											●	※②	・予算の不足や、高齢化で実施場所(バリアフリー化)の確保が難しい等の理由で未実施になった地域がある。 ・予算の都合上、個人負担が必要である。
		7 慰問品作成・贈呈				●																			・個人情報により、贈呈対象者全員の把握が困難である。
		8 子ども球技大会	●								●	●													・子どもの数が減っているため、参加チームが減少傾向にある。 ・スポーツクラブ、塾通い等で参加者が集まらない。
		9 交流ウォーキング										□			●	●									・参加者に配慮したコースの選定に苦慮している。 ・参加賞を工夫するなどして、参加者増加に繋げている。
		10 園児(子育てサークル等)との交流	●	●	●			●																●	・今後は、保育所の統廃合により、高齢者の保育所までの移動手段の確保が困難となる。
		11 児童との交流・学校行事への参加	●	●	●		●					●						●							・学校行事での交流活動では、移動手段の確保、学校再編による交流の場が懸念される。
		12 地域行事への参加・協力(どんど焼き・子ども餅つき等)	□	●		●	●		●	□		●		●			●								・どんど焼き等の地域行事へ人員を派遣し世代間交流を図る。

